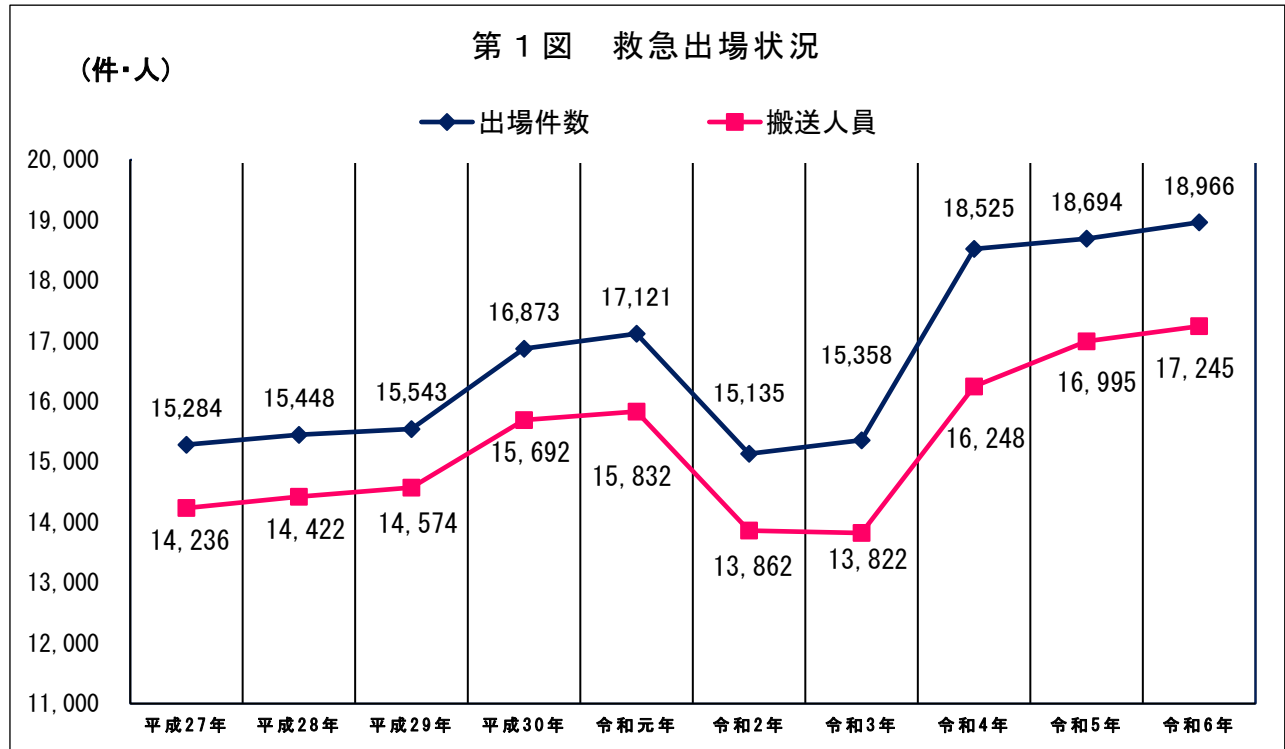


令和6年（1月～12月）における救急概況

※ 本統計中の全ての表・図における合計値は、端数処理の関係で100%とにならない場合があります。

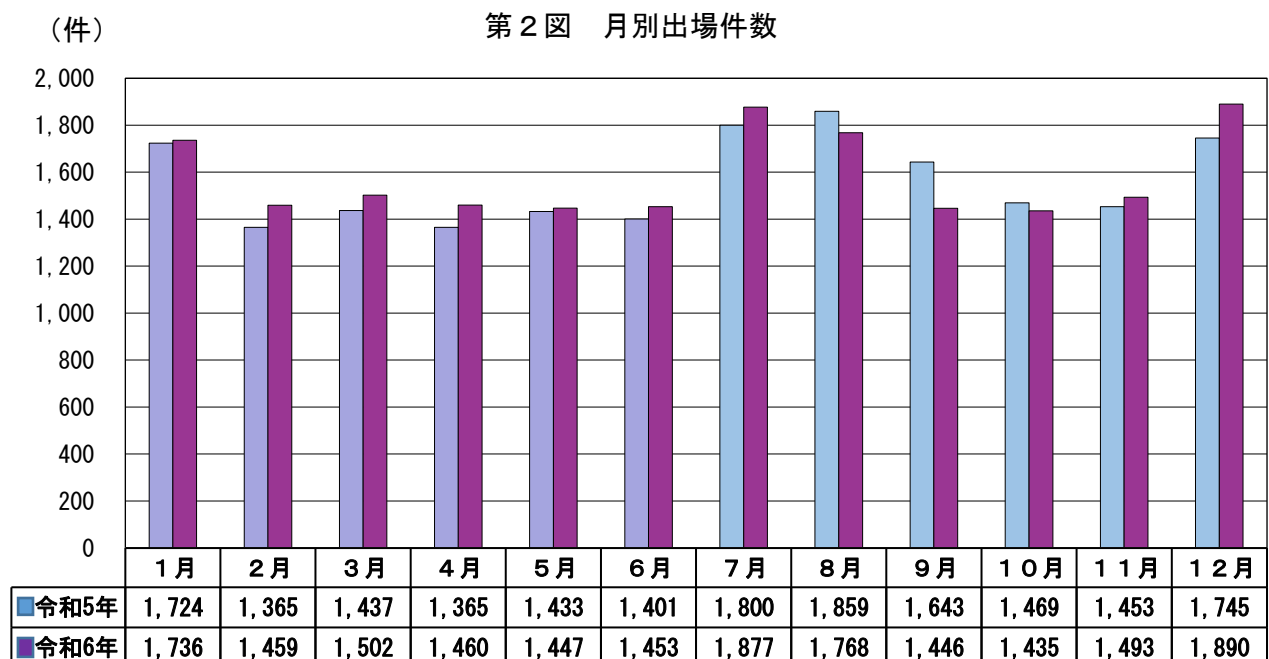
1 救急出場状況

令和6年中の救急出場件数は18,966件で、前年と比べて272件増加している。
これは、1日平均52件（28分に1件）の割合で救急車が出場していることになる。
搬送人員は17,245人で、前年と比べて250人増加している。（第1図）



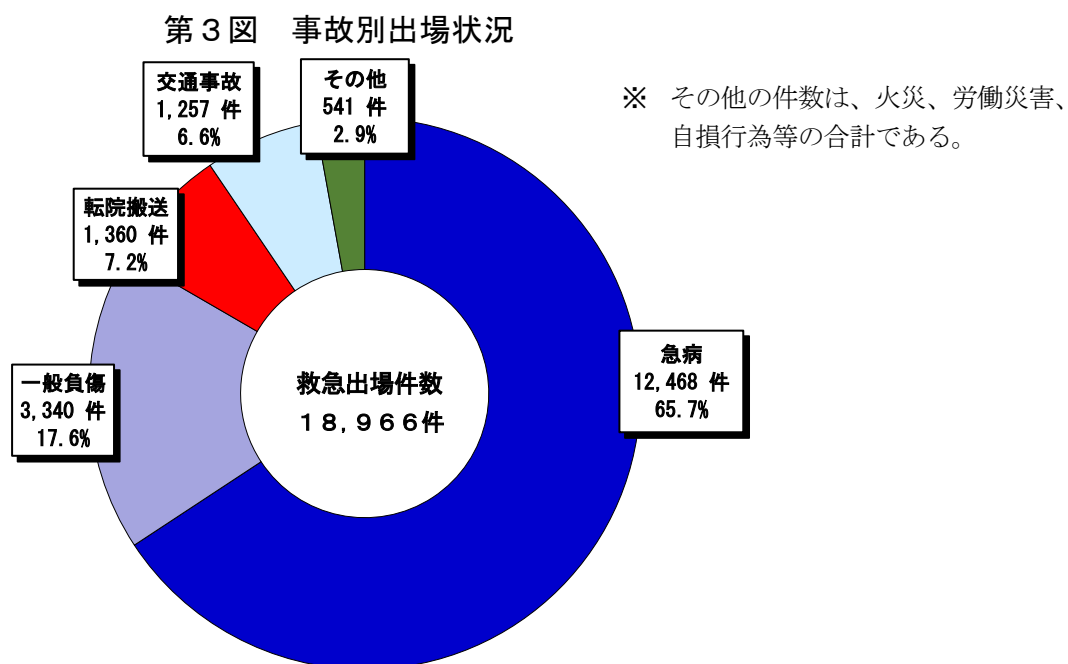
2 月別出場件数

救急出場件数を月別で見ると、12月が1,890件で最も多く、次いで7月が1,877件、8月が1,768件の順となっている。（第2図）



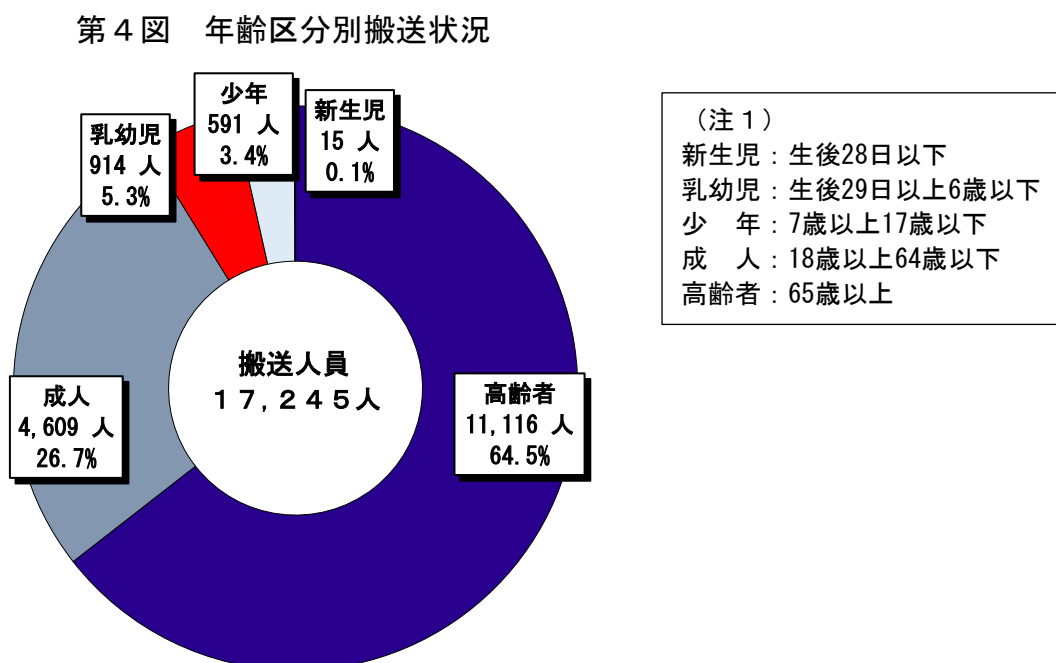
3 事故別出場状況

救急出場件数を事故種別ごとにみると、急病が12,468件、一般負傷が3,340件、交通事故が1,257件となっており、これら3種別で全体の90%を占めている。(第3図)



4 年齢区分別搬送状況

搬送人員を年齢区分別にみると、高齢者が11,116人で全体の65%を占めており、成人が4,609人、乳幼児が914人、少年が591人、新生児が15人の順となっている。(第4図)(注1)



5 診療科目及び管内外別搬送状況

搬送人員を診療科目別にみると、内科が5,197人、脳神経外科が2,800人、整形外科が2,656人の順となっている。

搬送先医療機関については、全体の75%を市内へ、25%を市外へ搬送している。
(第1表)

第1表 診療科目及び管内外別搬送人員

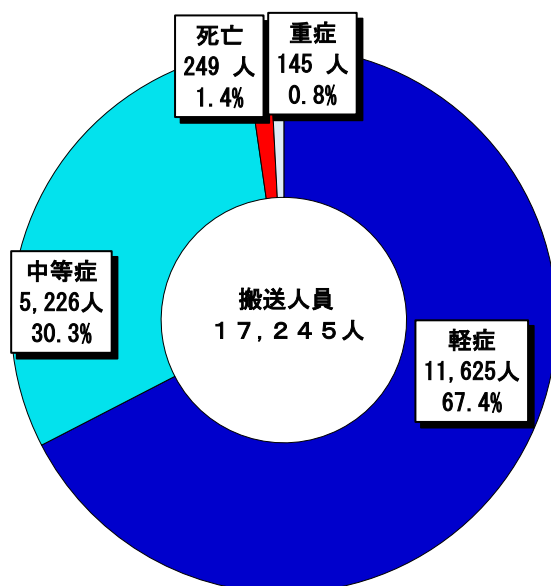
	八尾市内	八尾市外	合計（人）
内 科	4,131	1,066	5,197
循 環 器 科	1,052	230	1,282
呼 吸 器 科	1,187	438	1,625
小 児 科	347	532	879
外 科	340	205	545
整 形 外 科	2,146	510	2,656
脳神経外科	2,030	770	2,800
産 婦 人 科	27	118	145
泌 尿 器 科	203	79	282
神 経 内 科	1,217	267	1,484
そ の 他	194	156	350
合 計	12,874	4,371	17,245

※上記表中の「その他」とは、上記診療科目以外の全てのものをいう。

6 傷病程度別搬送人員状況

搬送人員の内訳を傷病程度別にみると、軽症が11,625人、中等症が5,226人、重症が145人などとなっている。(第5図)(注2)

第5図 傷病程度別搬送人員状況



(注2)

死 亡：初診時に死亡が確認されたもの

重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：傷病の程度が重症または軽症以外のもの

軽 症：傷病の程度が入院加療を要しないもの

※傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれている。

7 応急手当の普及啓発活動

救急車の要請から現場に到着するまでの時間は、約9.0分である。

救急車が現場に到着するまでの間、救急現場近くの住民等による応急手当が適切に実施されれば、大きな救命効果が得られる。

消防本部では心肺蘇生法の普及啓発活動を積極的に推進している。(第2表)

第2表 令和6年中普及啓発活動状況

区分 講習会名	開催回数 (回)	受講人数 (人)	講習内容
普通救命講習Ⅰ	22	509	心肺蘇生法・AED・止血法の3時間講習
普通救命講習Ⅱ	0	0	普通救命講習Ⅰの内容に実技試験及び筆記試験を加えた4時間講習
普通救命講習Ⅲ	3	62	心肺蘇生法(主に小児・乳児・新生児)・AED・止血法の3時間講習
上級救命講習	3	51	普通救命講習の内容に加え小児・乳児の心肺蘇生法、外傷の手当法の訓練を実施した後、実技試験及び筆記試験を行う8時間講習
応急手当訓練	82	3,186	3時間に満たない心肺蘇生法・AED・止血法の講習
計	110	3,808	

〈参考〉

消防本部では、ご自宅や仕事場でも応急手当を学んでいただけるよう、動画「WEB自主防災(心肺蘇生法とAEDの使用法)」を作成し、YouTube 八尾市公式チャンネルで公開しています。

【動画イメージ】

【動画QRコード】

